

コード No. 18281

**Anti-Rat  
HGF $\alpha$  (H56) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100  $\mu$ g

- はじめに : 肝細胞成長因子 (Hepatocyte Growth factor, HGF)は肝細胞の分裂促進因子(マイトジェン)として発見されました。その後 HGF は上皮細胞接着を破壊して細胞運動を促進する細胞分散因子と同じものであることが分かりました。いくつかの報告では、HGF が正常および悪性の乳腺上皮に発現するとされています。また HGF は上皮細胞の運動性と成長を促進してその形態発生を誘導し、血管新生を促進すると報告されています。このことから、HGF はがん細胞の増殖と転移にかかわると推測されています。HGF の作用の最初の段階は、がん原遺伝子 *c-met* にコードされた特異的細胞表面受容体である、HGF レセプターへの結合に依存しています。c-Met は HGF の二つの応答、すなわち成長と運動性の促進をともに仲介しています。  
HGF は 728 アミノ酸からなり 69 kDa の  $\alpha$  鎖と 34 kDa の  $\beta$  鎖がジスルフィド結合で繋がる成熟型増殖因子となります。
- 免疫抗原 : Rat HGF $\alpha$  鎖の N 端部分合成ペプチド (PLVKIKTKKVNSADEC)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100  $\mu$ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定  
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 2~5  $\mu$ g/mL にて使用可能  
(ホルマリン固定・パラフィン切片可能: トリプシン処理)  
ウェスタン・ブロッティング 2~5  $\mu$ g/mL にて使用可能
- 特異性 : Human HGF および Rat HGF $\beta$  と非交差